

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分	制定年月	令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里	<input type="checkbox"/> 基本業務	改訂年月	
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム ステイン八女の里	<input checked="" type="checkbox"/> 機器取り扱い		
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里	<input type="checkbox"/> その他		
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名	
-----	--

【目的】

移動用リフトとは、ベッド上から車いすへの移乗などの際に、要介護の方の体を持ち上げて移動することで目的で使用されます。

要介護の方が、ご自身で起き上がれる、ベッドの端に座ることが出来る、支えがあれば立ち上がれるなどの状態であれば、特に使用する必要はありません。「起き上がる」という動作を助けたとしても、ご自身でベッドから降りて車いすへ移乗できない場合に使用します。

1. 車いすから吊りあげる場合

■介護リフトを安全で快適に使用するため、下記の注意事項を守り、吊りあげ、吊りおろしの要領をよく理解のうえ、慣れるまで練習をして正確に使用してください。

- 警告**

 - 介護リフトの昇降中は、介護リフトのキャスターのロックをかけないでください。ロックをかけていると転倒してけがをするおそれがあります。キャスターを解除にしていますと、昇降中に介護リフトの重心位置が変わり、介護リフトが前後に動いて安定した状態を保ちます。キャスターのロックは、介護リフトの保管時などにお使いください。
 - 作業をするときは、介護リフトのハンガーが介護を受ける方の顔などに当たらないように注意してください。けがをするおそれがあります。
 - 作業をするときは、介護リフトの脚開閉レバーを右側に倒して、脚をいっばいまで開いて固定してから行ってください。脚を開かないで作業しますと、介護リフトが不安定になり、転倒してけがをするおそれがあります。

- ① 車いすのブレーキをかけてください。
- ② 介護を受ける方の背中に、吊り具の介護バンドを外側にして、吊り具の中央を背骨（背中の中央）にあわせてかけてください。



ポイント ● 介護を受ける方が安心してできるように、すべての作業は声をかけながら行ってください。

③ 介護を受ける方の上半身を片手で図のように支えながら前傾させ、もう一方の手で吊り具中央の下端を背中と車いすとの間に差込んでください。差込む手は広げて、指先で吊り具を背中に沿わせるようにしながら、車いすの座面まで深く差込んでください。

ポイント ● 吊り具の中央が背中の中央位置になるようにしてください。ずれて装着しますと、吊り姿勢が安定せず、不快感を与えますので注意してください。

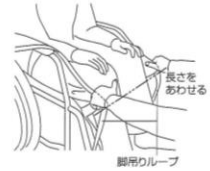


④ 片手で脚サポートの内側の縁を持ち、吊り具が腰・お尻・太ももを確実にとおうように、脚サポートを手前に軽く引いてください。（反対側も同じ要領で行ってください。）

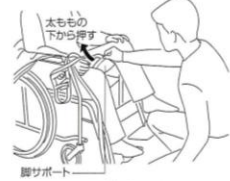


ポイント ● 吊り具が、腰・お尻・太ももを確実におっていることを確認してください。

⑤ 左右の脚吊りループの長さが同じであるか確認してください。長さに差があるときは、図のように両手で吊り具を軽く引いてください。



⑥ 脚サポートを太ももの下から通して、股の間に抜き出してください。



ポイント ● 図のように、介護を受ける方の片足を膝にのせて作業を行うと楽に行えます。


⑦ 脚サポートにしわができないように、股関節側（図の方向）に引いてください。（反対側も⑥と同じ要領で行ってください。）




事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分	制定年月	令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里	<input type="checkbox"/> 基本業務	改訂年月	
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム ステイン八女の里	<input checked="" type="checkbox"/> 機器取り扱い		
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里	<input type="checkbox"/> その他		
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名


⑧脚吊りループを回のように交差させてください。




⑨介護リフトの脚開閉レバーを右側に倒して、確実にレバーを「開脚」の位置に固定してください。



⑩介護リフトを、車いすの正面から近づけてください。



⑪介護リフトの手元スイッチ操作でハンガーの高さを、スリングシートのループをかけやすい高さに調節してください。



警告

●ハンガーが介護を受ける方の顔などに当たらないように注意してください。けがをすおそれがあります。

●ハンガーには、外側と内側にフックがついています。介護を受ける方の体格や症状にあわせてお選びください。

●脚分離型吊り具は外側のフック、クロスベルト型吊り具は内側のフックをご使用いただきますと、吊り姿勢が比較的安定します。

⑫ハンガーのフックに、脚吊りループを掛けてください。

⑬脚吊りループを、回のように交差させた状態のまま、ハンガーのフックに掛けてください。このとき、脚吊りループや脚サポートにねじれがないことを確認してください。

注意


●脚吊りループや脚サポートにねじれがないか確認し、ねじれがある場合は必ず直してください。ねじれがあると、吊りあげたときに痛みを生じたり、床ずれの原因となります。

⑭手元スイッチ操作でブームを少しずつあげ介護を受ける方の身体が少し浮いた状態に止めてください。次に、太ももあたりの脚サポートにしわがないか、肩への圧迫感がないか、吊りあげた姿勢などを確認してください。

●脚サポートにしわがあるとき
脚サポートと太ももの間に手を入れ、しわを伸ばしてください。

●肩への圧迫感があるとき
介護を受ける方の肘を右図のように持ち、上腕部を軽く手前に出してください。圧迫感が軽減されます。

●吊りあげた姿勢について
15ページを参照して、吊りあげた姿勢を確認してください。吊りあげた姿勢が悪いときは、いったん降ろして調節してください。



2. 車いすや便器に着座させる場合

●介護リフトから車いすや便器に着座させる場合は、安定した座位を保つために、車いすや便器に深く着座させることが大切です。下記の要領で、上手に着座させてください。

警告

●介護リフトの昇降中は、介護リフトのキャスターのロックをかけないでください。ロックをかけていると転倒してけがをすおそれがあります。キャスターをフリーにしていると、昇降中にリフトの重心位置が変わり、リフトが前後に動いて安定した状態を保ちます。キャスターのロックは、介護リフトの停止・保管時などにお使いください。

①上手に着座させるには、下記の3つの方法があります。吊りあげ姿勢を確認し、介護を受ける方の状態に適した方法で車いすに深く腰かけさせてください。

介護用バンドを使って着座させる方法
手元スイッチ操作でブームをさげながら、車いすの後方から介護用バンドを持って正しい位置に引き寄せ、車いすの背もたれに背中を密着させながら降ろしてください。

警告

●車いすが動かないように、必ず車いすのブレーキをかけてから降ろしてください。ブレーキをかけないと、不意に車いすが動き、けがをすおそれがあります。

車いすを傾けて着座させる方法
車いすのブレーキを解除して、車いすの座面と介護を受ける方のお尻との距離が10cm程度になるまで、ブームをさげてください。次に、車いすのティップングレバーを踏んで後方に傾斜させ、お尻が車いすの座の奥に着く位置で、ブームをゆっくりさげてください。

注意

●車いすを傾けて着座させる場合は、車いすのブレーキをかけないでください。

膝を押しながら着座させる方法
介護を受ける方の正面に立ち、ブームをゆっくりさげ、お尻が座面に着く少し前に膝を下側に押し、膝蓋が車いすの前端にくるようにしてください。お尻が後方に振られて、深く着座できます。

警告

●車いすが動かないように、必ず車いすのブレーキをかけてから降ろしてください。ブレーキをかけないと、不意に車いすが動き、けがをすおそれがあります。

⑫着座後、ハンガーが顔に当たらないように、ハンガー一部に手をそえながらブームをさげてください。

警告

●ハンガーが介護を受ける方の顔などに当たらないように注意してください。けがをすおそれがあります。

⑬ハンガーから脚吊りループと脚吊りループを取外してください。

⑭脚吊りループの交差をほどき、膝を持ちあげて太ももから脚吊りループおよび脚サポートを引き抜いてください。

⑮介護を受ける方の上半身を片手で支えながら前傾させ、もう一方の手で背中側から吊り具を抜いてください。



事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分	制定年月	令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里	<input type="checkbox"/> 基本業務	改訂年月	
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム ステイン八女の里	<input checked="" type="checkbox"/> 機器取り扱い		
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里	<input type="checkbox"/> その他		
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名

3. 背あげ機能のあるベッドから吊り上げる場合

① ベッドの背をあげてください

② 介護を受ける方の背中に、吊り具の介護バンドを外側にして、吊り具の中央を背中の中央にあわせてかけてください。

③ 介護を受ける方の上半身を片手で右図のように支えながら前傾させ、もう一方の手で吊り具中央の下端を背中とベッドとの間に差込んでください。差込む手は広げて、指先で吊り具を背中に沿わせるようにしながら、できるだけ深く差込んでください。

● 吊り具の中央が背骨(背中中央)の位置になるように注意してください。ずれて装着しますと、吊り姿勢が安定せずに、不快感を与えます。



④ 片手で脚サポートの内側の線を持ち、吊り具が腰・お尻・太ももを確実にとおうように、脚サポートを手前に軽く引いてください。(反対側も同じ要領で行ってください。)

● 吊り具がお尻の周り、太もも、腰をきれいにカバーするようにしてください。
● 左右の脚吊りループの長さが同じであるか確認してください。



⑤ 介護を受ける方の片膝を立て、脚サポートを太ももの下から通して、股の間に抜き出してください。次に、脚サポートにしわができないように、脚サポートの内側の線を持って、介護を受ける方の股関節側に軽く引いてください。(反対側も同じ要領で行ってください。)



⑥ 脚吊りループを図のように交差させてください。

⑦ 介護リフトの脚開閉レバーを右側に倒して、確実にレバーを「開脚」の位置に固定し、介護リフトをベッドに近づけてください。



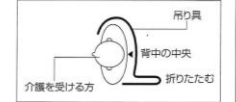
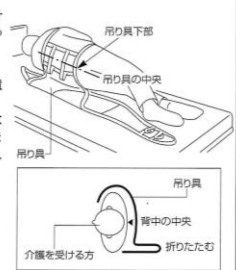
以下の手順は、「1.車いすから吊り上げる場合⑩以降」と同じ要領で行ってください(19ページ参照)。

4. 背あげ機能のないベッドから吊り上げる場合

● 介護を受ける方が1人で座ることができる場合は、「23ページの「3.背あげ機能のあるベッドから吊り上げる場合」の要領で行ってください。

① 介護を受ける方を寝返りさせ、吊り具の中央を背骨位置、吊り具下部を仙骨(お尻の割れ目)の位置にあわせて、介護を受ける方の背中にかけてください。

● 吊り具の上下・表裏を間違えないように注意してください。
● 吊り具の中央が背骨(背中中央)の位置になるように注意してください。ずれて装着しますと、吊り姿勢が安定せずに、不快感を与えます。

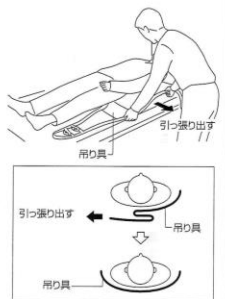


4. 背あげ機能のないベッドから吊り上げる場合

② 介護を受ける方を仰向けに、吊り具の上に寝かせてください。

③ 身体の下から吊り具の半分を引っ張り出して、しわができないように、いっぱいまで広げてください。

● 介護を受ける方が吊り具の中央に寝ていることを確認してください。



④ 介護を受ける方の片膝を立て、脚サポートを太ももの下から通して、股の間に抜き出してください。次に、しわができないように股関節側(右図の矢印の方向)に引いてください。お尻をきれいにカバーできます。(反対側も同じ要領で行ってください。)



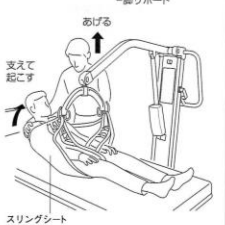
⑤ 介護リフトの脚開閉レバーを右側に倒して、確実にレバーを「開脚」の位置に固定し、介護リフトをベッドに近づけてください。



⑥ 介護リフトの手元スイッチ操作でハンガーの高さを、スリングシートのループをかけやすい高さに調節してください。

⑦ 介護を受ける方の首を支えながら上半身を起こし、ハンガーのフックにループをかけてください。

以下の手順は、「20ページの「1.車いすから吊り上げる場合⑩以降」と同じ要領で行ってください。



5. 背あげ機能のあるベッドに降ろす場合

① ベッドの背をあげてください。

② 介護リフトの脚が開いた状態でベッドに近づけ、介護を受ける方のお尻を図の位置に置いてください。



③ 介護を受ける方の足を持って図の位置に回転させ、ブームをゆっくりさげてください。



④ お尻と背中が接触したら、足を伸ばしながらブームをさらにさげてください。

● ハンガーが介護を受ける方の顔などに当たらないように注意してください。けがをされるおそれがあります。


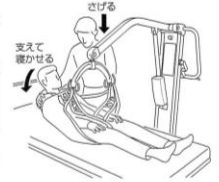

⑤ ハンガーから脚吊りループと脇吊りループを外してください。

⑥ 脚吊りループの交差をほどき、膝を持ちあげて太ももから脚吊りループおよび脚サポートを引き抜いてください。

⑦ 介護を受ける方の上半身を片手で支えながら前傾させ、もう一方の手で背中側から吊り具を抜いてください。



事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分	制定年月	令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム ステイン八女の里	<input checked="" type="checkbox"/> 機器取り扱い	改訂年月	
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里	<input type="checkbox"/> その他		
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名	
<p>6. 背あげ機能のないベッドに降ろす場合</p> <p>① 介護リフトの脚が開いた状態で、介護を受ける方がベッドの中央になるように、近づけてください。</p> <p>② 介護を受ける方の足を持って図のように回転させ、お尻が接地する位置までブームをゆっくりさげてください。</p>  <p style="text-align: center;">回転させる</p> <p>③ 片手で頭や首・肩を支えながら、ブームをさげて寝かせてください。</p> <p>● あらかじめ、枕やクッションなどを背中や頭部に置いておくようにしてください。</p>  <p style="text-align: center;">さげる 支えて寝かせる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>警告</p> <p>● ハンガーが介護を受ける方の顔などに当たらないように注意してください。けがをするおそれがあります。</p> </div> <p>④ ハンガーから脚吊りループと脇吊りループを取外してください。</p> <p>⑤ 脚吊りループの交差をほどき、膝を持ち上げて太ももから脚吊りループおよび脚サポートを引き抜いてください。</p> <p>⑥ 介護を受ける方を寝返りさせ、吊り具を図のようにたたんでください。</p>  <p style="text-align: center;">たたむ 吊り具</p>	